

(公社)日本理学療法士協会臨床実習指導者講習会プログラム

日程	時間	講義・演習テーマ	
1日目	1.5	9:00～10:30	講義1【理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要】(90分) 臨床実習指導者講習会の開催の背景ならびに目的 世話人の役割およびグループワークの展開法
		10:30～10:40	休憩
	1	10:40～11:40	講義2【その他臨床実習に必要な事項】教育原論・人間関係論(60分)
	1.5	11:40～13:10	演習1【その他臨床実習に必要な事項】人間関係論(90分)
		13:10～14:00	休憩
	1	14:00～15:00	講義3【臨床実習指導者のあり方】ハラスメント防止意識の向上(60分)
	1.5	15:00～16:30	演習2【臨床実習指導者のあり方】ハラスメントの防止について(90分)
		16:30～16:40	休憩
	1	16:40～17:40	講義4【臨床実習の到達目標と修了基準】(60分)
1.5	17:40～19:10	演習3【臨床実習の到達目標と修了基準】(90分)	
2日目	1	9:00～10:00	講義5【その他臨床実習に必要な事項】臨床実習における学生評価(60分)
	1.5	10:00～11:30	演習4【その他臨床実習に必要な事項】臨床実習における学生評価(90分)
	1	11:30～12:30	講義6【臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案】(60分)
		12:30～13:20	休憩
	2	13:20～15:20	演習5【臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案】(120分) 規定する時間内で臨床実習プログラムを立案
		15:20～15:30	休憩
	1.5	15:30～17:00	演習6【臨床実習指導者およびプログラムの評価】(90分)

(公社)日本理学療法士協会臨床実習指導者講習会プログラム

【学修目標】

講義・演習テーマ	学修目標
<p>【Ⅰ. 理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要】 講義 1 臨床実習指導者講習会の開催の背景ならびに目的 世話人の役割およびグループワークの展開法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床実習指導者講習会開催の背景ならびに目的を理解する。 ○ 指定規則、ガイドライン、コアカリキュラムを踏まえて、理学療法士養成教育における臨床実習の理念と概要を理解し、卒前教育で取り組む意義ならびに目標について理解する。 ○ 臨床実習指導者講習会における世話人の役割およびグループワークの展開法を理解する。
<p>【Ⅱ. その他臨床実習に必要な事項】 講義 2 教育原論・人間関係論 演習 1 人間関係論</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床実習生が有意義な実習に臨むことができるように、指導者との良好な人間関係の構築方法を検討する。
<p>【Ⅲ. 臨床実習指導者の在り方】 講義 3 ハラスメント防止意識の向上 演習 2 ハラスメントの防止について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハラスメントが生じない臨床実習指導を行うために、相談事例等を用いてハラスメント問題の現状を学び、その対応方法を検討する。
<p>【Ⅳ. 臨床実習の到達目標と修了基準】 講義 4 臨床実習の到達目標と修了基準 演習 3 臨床実習の到達目標と修了基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床実習の構成（見学実習・評価実習・総合臨床実習・訪問または通所リハビリテーション）をレベルに合わせて適切に指導するために、到達目標および修了基準の設定を行う。
<p>【Ⅴ. その他臨床実習に必要な事項】 講義 5 臨床実習における学生の評価 演習 4 臨床実習における学生の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生の成長を促す評価（学生が実施できる行為を含む）を行うために、適切な評価の種類をあげ、その方法を検討する。
<p>【Ⅵ. 臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案】 講義 6 臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案 演習 5 ガイドライン5（4）に規定する時間数で 臨床実習プログラムを立案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床実習の規程の時間内で効果的な学生の成長を促すために、適切な臨床実習プログラムの立案を行う。
<p>【Ⅶ. 臨床実習指導者およびプログラムの評価】 演習 6 臨床実習指導者およびプログラムの評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ より良い臨床実習指導を行い、さらに今後の改善につなげるために、指導者の評価・実習プログラムの評価の必要性と方法を検討する。